

平成15年8月29日

### 企業再生支援への取り組み強化について

株式会社東京三菱銀行(頭取 三木 繁光)は、今般、企業再生専門部署を設置するなど、企業再生支援への取り組みを一層強化します。

当行では、9月5日付で本部組織を一部改正、新たに設置する企業再生専門部署を中核として、大企業から中小企業までの広範なお客さまを対象に、MTFGグループ内外の投資銀行・信託機能、再生ファンド等を最大限に活用し、当行独自の「企業再生のビジネスモデル」を確立することを目指します。

また、バランスシートの改善やキャッシュ・フローの増大など、お客さまが企業価値を高めるためのこうした支援を通じ、日本経済・産業の活性化に貢献していきたいと考えています。

今回の取り組みの具体的な内容は以下のとおりです。

#### 1. 事業戦略開発部の新設

- 企業再生・事業再構築ニーズのある大企業・中堅企業のお客さまを担当する新組織「事業戦略開発部」をコーポレートセンター内に新設します。
- 事業戦略開発部は、「企業再生」に関する部門横断的な統括機能を担う組織とし、これまで培ってきた審査ノウハウと投資銀行機能を融合することで、企業再生支援への取り組みを強化します。

#### 2. 中小企業のお客さまの再生支援機能を拡充・強化

- 融資部に再生支援ラインを設置し、企業再生・事業再構築ニーズのある中小企業のお客さまを集中して担当します。お客さまそれぞれの状況に応じてきめ細かな再生支援策を講じる体制を整備します。
- 融資部内に蓄積した企業再生支援ノウハウに加え、MTFGグループ内外の不動産・企業コンサルタント機能等を最大限に活用します。

### 3. MTFGグループ内外での連携体制構築

- MTFGグループ内の投資銀行・信託・不動産・企業コンサルタント・エクイティ機能等をフルに活用する体制を構築します。当行を中核として、三菱信託銀行、三菱証券を中心としたMTFGグループ各社の企業再生支援ノウハウを結集し、総力を挙げて企業再生支援への取り組みを強化します。
- MTFGグループ外では、企業再生ファンドや外部コンサルタント等と連携するなど、企業再生支援に資する手段を積極的に活用する体制を構築します。

これらの取り組み強化などにより、当行は「平成16年度末までに不良債権比率を平成13年度末の半分程度に引き下げる」という目標の早期達成を目指すとともに、お客様の資金ニーズに積極的にお応えするなど、「攻めの経営」を一段と強化してまいります。

以上